

運動会 練習風景①



<1・2年合同の練習の様子>

前期後半が始まった頃は、例年になく雨模様の毎日でしたが、ここ数日はまた大変暑い日が続いています。運動会の全体練習が始まるのは18日からですが、低中高の表現（ダンス）の練習は始まっています。

1・2年生は各5クラスずつ計10クラスですが、1年生と2年生が混ざって、エアコンの効いた教室で練習しています。（1の2と2の2が半分ずつのグループになります。半分は自分の教室に残ります。1の2の子どもの半分は2の2教室で2の2の園田先生が、2の2の子どもの半分は1の2教室で崎山先生が指導します。他のクラスも同様です。）教室に戻っていた1年生に話を聞くと、「2年生、上手だった!」「とっても楽しかった~!」と満足気でした。



大きな学校でも、「全部の職員で全部の子どもたちを育てる」ことは大きなことだと思っています。そして、このような練習は、2年生には「1年生に教えてやらなくちゃ!」という使命があり、2年生にとってのやりがいにもなります。1年生にとっては、「来年は自分たちがこんなお兄ちゃん、お姉ちゃんにならなくちゃ!」という自覚につながります。ある程度の踊りの型を覚えてからの体育館や運動場での練習の方が、熱中症予防にもなりますね。



西小の子 挨拶上手かな？

学校運営協議会でも児童の運営委員会でも「あいさつ」をキーワードに取り組んでいます。子どもたちの様子を見てみると実に個人差があるなあという印象です。

時々、登校時間帯に正門前から西に向かって歩きます。すれ違う登校班の子どもたちは、私の「おはよう!」「おはようございま〜す!」にはほぼ返してくれますが、10人程の登校班の子どもたちの声より私の声の方が遙かに大きいと思います。一人一人と目を合わせて、ワントーン高い「おはよう!」の声には、よく反応してくれるという印象です。道路の向こう側もたくさん子どもたちが、正門を目指して歩いています。おはよー!と大きな声で手を振ると、大きな声で「おはようございま〜す!」と返してくれる子どももいます。「おっ君のあいさついいねっ!」という子もいます。でも、**もっともっと元気で気持ちのよいあいさつがきっとできます。そんな子どもたちを育てなければならないと思うし、「西小の子どもたちの挨拶って元気になる!」と地域の方々から言われるような学校にしていきたいものですね。**



伝えることは難しくてもそれでも分かりたいと思ってくれる人はきっといる。

～平成29年度 熊本県人権メッセージ作品集より～



第4条

「ありがとう」は生きゆく心の出発点

～くまもと家庭教育10か条より～



菊陽西小だより



NO.4

R 1. 9. 10

菊陽町立

菊陽西小学校

文責：草場ルミ子

慈母会の

〔菊陽西小今昔〕 私が、菊西小の保護者だった頃、もちろん新校舎はなかったし、プールのところまでが運動場でした。当時、学童も一つの建物しかありませんでした。また、C棟ができたばかりくらいで、C棟の2階は多目的室があったようです。卒業式の後の茶話会はその多目的のホールであったなあと思っ
ています。体育館西側の、今のピロティのところは、大きな木を真ん中に、ロ
ーターリになっており、そこが駐車場でした。駐車場から校舎を見上げ、その
3階?に図書室があって、(多分)そこでPTA運営委員会もあっていました。私
が参加したのは数えるほどですが、しかしその頃からPTAミーティンググル
ムは健在で、印刷機もありました。当時エアコンはなかったかなあ。窓を開ける
と蚊が入り、「蚊取り線香いるよね〜」なんて話してたと思います。なつかしい
です……; 当時から、PTA活動はとっても活発でしたよ。